

(様式第1号)

平成24年度 第6回芦屋市健康増進・食育推進計画策定委員会会議録

日 時	平成25年1月31日(木) 午後15時30分～
場 所	芦屋市保健福祉センター
出 席 者	委員長 立花 久大(兵庫医科大学病院教授) 副委員長 野田 京子(芦屋栄養士会 会長) 委員 須山 徹(芦屋市医師会理事) 溝井 康雄(芦屋市歯科医師会 監事) 進藤 昌子(芦屋市民生児童委員協議会副会長) 里村 喜好(芦屋市社会福祉協議会常務理事兼事務局長) 上坂 泰代(芦屋いずみ会 会長) 福永 公子(芦屋市老人クラブ連合会 副会長) 波多野 正和(芦屋市商工会 事務局長) 岡野 東子(市民委員) 美濃 千里(兵庫県芦屋健康福祉事務所健康参事兼地域保健課長) 北野 章(教育委員会学校教育課長) 津村 直行(保健福祉部参事) 土居 郭子(市民委員)
欠 席 者	事務局 北口 泰弘(保健福祉部健康課長) 瀬戸山 敏子(保健福祉部主幹(保健担当課長)) 田中 佐代子(保健福祉部健康課主査) 辻 彩(保健福祉部健康課技師)
事 務 局	保健福祉部健康課
会議の公開	公 開
傍 聴 者 数	0人

1 開会

2 議事

(1)「芦屋市健康増進・食育推進計画」の原案について

(2)今後のスケジュールについて

(3)その他

【事務局北口】 (配布資料の確認)

【立花委員長】それでは議事に入ります。本日は最終の委員会ですので、ぜひ活発な意見交換をしてください。

事務局から、変更箇所およびコメントについて、市の見解を説明してください。

最後に計画案全体についての最終意見と原案としてのご承認をいただきたいと思
います。

【事務局瀬戸山】 (修正事項について説明)

【立花委員長】ありがとうございました。ただ今ご説明いただきました箇所を含めて、今回
の計画についてのご意見がありましたらお願いします。

【里村委員】31ページ(3)こころの健康と安心の確保で、「睡眠による休養が十分に取れて
いない人の割合は変化がみられません」ということですが、睡眠による休養が十分
に取れていない人の割合は策定当初の値が19.7、目標値が15%以下、直近値が
20.1、評価がB2で修正されていますが、変化みられませんという表現がされて
います。当初の値と直近値の差が0.4%あります。若干でも増加していると思いま
すが、どういう基準で変化みられないと判断しているのですか。

【事務局瀬戸山】改善率がプラスマイナス10%未満をB2という基準にしています。10%以上
になればCです。

【事務局北口】24ページの評価の基準をご覧ください。B2はプラスマイナス10%未満で改
善がないというように規定しています。

【立花委員長】他によろしいですか。

改善率の計算方法、改善率の出し方の式はどこに記載されていますか。

【事務局瀬戸山】式は掲載していませんが、したほうがよいですか。

【立花委員長】31ページ(2)ストレスを感じたときの相談相手がいる人の割合が92.5%から
93.7%ということで、1.2%の増加でB1です。改善率10%以上ですが、ぱっと見た
感じでは改善しているようには見えません。みなさんはどのように感じられます
か。

【事務局瀬戸山】24ページの表の下の部分にでも、注釈として改善率の出し方の計算式を記
載しておきます。確認しやすくなると思います。

【美濃委員】数値の出典を教えてくださいと思います。21ページの生活習慣病に関わる
主要疾患の受診状況のところ、一番下の表にある高血圧性疾患が平成20年から2
千台で推移していますが、一次計画の同じ疾患では高血圧性疾患が15年度から19
年度になっており、3千台から4千を超えています。平成19年度は4115件で、その
翌年度から半減しています。この部分の出典とデータの読み方を教えてください
と思います。

【事務局瀬戸山】以前の計画については後期高齢者も含んでおります。20年度からのデー
タからは75歳以上の方が後期高齢者医療に分かれましたので、75歳以上の方が含ま
れていません。そこが大きな変更点です。

【立花委員長】それはどこかに記載されていますか。

【事務局瀬戸山】国民健康保険の加入者の状況のところでも、75歳以上は加入者なしという
表現になっています。これも75歳以上は後期高齢者医療の保険になるということ
で、対象者がいないということです。ここにも注釈として説明を入れたほうがよ
ろしいですか。

【事務局北口】20年度から全ての国民健康保険には後期高齢者が含まれないということにな

りましたので、ここには特に説明は入れませんでした。

【事務局瀬戸山】場所が違うのですが、23ページに後期高齢者医療の状況ということで20年度からのデータを掲載していますが、変化があったというよりも法が変わったのだという説明は、十分に記載されていません。

【美濃委員】統計の取り方としては、年度で行う分と暦年で行う分がありますか。23ページは年度ですね。

【事務局北口】23ページには注釈もついています。3月から2月という表現がある一方で、20年度は4月から2月という表現になっています。それぞれの保険者によって考え方が違ってきます。

【立花委員長】他にご意見等はありませんか。

では市民意見募集の実施結果について、事務局より説明をお願いします。

【事務局瀬戸山】（市民意見募集の実施結果について説明）

【立花委員長】今の修正を含めて全体的な最終案としていかがでしょうか。ご意見があればお願いします。

【波多野委員】12月5日に議会で所管事務調査をされているようですが、その中で特徴的な意見が出ていますので、よろしければお願いします。

【事務局北口】民生文教常任委員会で議員に説明させていただきましたが、その中で市民意見と同じような意見がありました。食育推進計画として学校給食との連携があるのですが、中学校給食についての掲載がないのはなぜなのか、行政の計画であるのであれば検討されている計画について記載してもよいのではないか、という意見でした。その時点では、給食の実施方法の答申が出る前でしたので、回答としては特にあげませんでした。1月18日に芦屋市立の中学校の昼食を考える懇談会からの検討委員会の報告書がでましたので、このような表現になっています。それ以外の委員会の中では議員の意見はなく、内容についての説明を求められたものが大部分です。

【立花委員長】他にご意見等はございませんか。

【事務局瀬戸山】この会議で提案したいことがございます。

（がん検診の受診率の表記の仕方の提案についての説明）

（関係機関等を指す具体的な機関名の記載についての説明）

【里村委員】90ページの関係機関等の説明ですが、担当はもちろん健康課ですが、福祉センターは入れなくてもよろしいですか。

【事務局北口】芦屋保健福祉フェア全体ということではなく、その中の健康と食の部分という考え方をしましたので、保健センター部分だけを考えております。

【立花委員長】ご提案に関しても、ご意見等はございませんか。

ないようですので、これをもちまして最終原案としてご承認をいただいでよろしいですか。

（異議なし）

【立花委員長】では事務局から今後のスケジュールについて説明をお願いします。

【事務局北口】（今後のスケジュールについて説明）

【立花委員長】今回がこの委員会の最終回ということで、この委員会に参画したことに対するご意見や感想をお一人ずつお願いしたいと思います。

【美濃委員】貴重な策定委員会に参加させていただきましてありがとうございました。県でも健康増進計画が改定中で、圏域の三市の状況を増進計画としてまとめている最

中です。市のみなさんとは策定委員会以外にも担当レベルで、例えば薬物乱用であれば担当薬剤師が参画をさせていただき、毎回修正部分や質問なども供覧をしながら取り組んでいます。その際にもこの委員会の内容が反映されて、円滑に進むようご協力をいただき、この委員会での策定および県の圏域版の策定が、みなさまのお力をお借りしてかたちになっているというご報告を兼ねて、お礼申し上げます。ありがとうございます。

【上坂委員】健康に関することを改めて勉強させていただきました。深い内容で、会議に参加させていただき、冊子を読ませていただき感謝しております。ただ、いずみ会の名前が消えたことは残念です。

【岡野委員】何もわからない状態で公募して、出席させていただきましたが、休むことなく出席できたことはよかったと思っております。今、地方の政治の勉強をしており、そういう意味でも大変勉強になりましたので、自分自身にとってもよかったと感じています。ありがとうございました。

【北野委員】市でいろいろな計画が次々つくられ、たくさんの計画があると知りました。計画にかかるエネルギーとその評価にかかるエネルギーは大きいものだと思いますが、やはり、大切なことは中身の充実だと思います。策定委員会に参加させていただき、いろいろな方のご意見を聞けたことは貴重だと感じています。議会も食育や健康に関することを扱っていますが、いろいろな機関と連携して取り組んでいかないと成り立たないということも実感いたしました。

【波多野委員】事業所団体の関係者という位置づけで、この策定委員会に参加させていただきました。健康増進・食育推進という分野に関しての意見を述べることはなかなか難しく、反省しています。どれほどお役にたてたかは疑問ですが、健康増進・食育推進という分野は普段、個人的にも見過ごしがちですので、参加して理解を深められたことはよかったと思います。ありがとうございました。

【里村委員】保健、医療、福祉、の連携が言われて久しいですが、社会福祉協議会の立場からは福祉に関することが中心になりますが、今回は関連のあることについてもいろいろ勉強させていただきました。できあがった計画は行政のものですが、それを手伝えるのが社会福祉協議会の仕事であり、例えば社協だより等で計画の策定をお知らせすることもできます。地域には地区支部会も設けておりますので、お申し出いただき、ぜひ利用いただきたいと思います。

【福永委員】今回の健康増進・食育推進に参加させていただき、ありがとうございました。今後も、この経験を役立てていきたいと思っております。ありがとうございました。

【進藤委員】今回初めて参加させていただきました。民生と関係がないように感じますが、児童委員としても、子どもの虐待や福祉に関する様々な場で、今回学んだことを啓発させていただきたいと思っております。参加させていただき感心したことは、毎回行政の方がきっちりと準備していただいているということです。お忙しい中、十分にまとめられていることに敬服いたしました。ありがとうございました。

【溝井委員】私は歯科医として食をつかさどる部分を扱っていますが、最近少し考え方を変えました。食べるということは体にとってのエネルギーを摂取することですが、風邪をひくと薬を飲むように、食べるという行為も薬の1つだ思うようになりました。食べるというはよく噛むといことであり、唾液の分泌を促進することです。唾液中には内分泌、外分泌に関わる、例えば粘膜の回復など、いろいろな作用があります。食べることによりそのような作用を促進しますし、機能も変わっ

てきます。また顔の輪郭も変わってくるなど、全身との兼ね合いもあるということ、この1年再認識しました。阪大中之島センターにあるNPO口に関する顔と健康づくりフォーラムの副理事長をさせていただいていますが、そのNPOの中でも食育に関しては、この場で学んだことを活用させていただいています。この策定委員会が一つのきっかけとなって、勉強をさせていただきました。今回できたものを、いかに市民に伝えていくかが今後の課題だと感じています。ありがとうございました。

【須山委員】がん検診や保健指導、健診などで協力させていただきながら、食育に関わる食生活の周知、最近増えてきている認知症での食事の治療などの傾向をお知らせしています。特に最近がん検診を初めて受けるという人が増えてきておりまして、そういう方に限って、運よくがんが見つかり、早期治療に取りかけられるという事例も多く、みなさまのおかげだと感謝しています。昨年のiPS細胞に関連して再生医療が注目されていますが、あの事実を用いたがん治療が進んでいます。人のがん細胞を採って、そのがん細胞の大元をつくってしまうという考え方です。それに対して薬剤投与するというもので、治療が大変早くなる可能性があります。従来はマウスにがんを移植して、そのマウスに注射して効果を見て、効果があれば人間でやってみるという手順でしたが、直接人間で行うことができます。スクリーニングはすでに始まっています。検診を受け、早期発見することで、早く治るということになります。それと同時にがんにならない食生活というものについてもデータが蓄積されています。今後も食育計画を推進することが市民の健康に役立つものとなることを祈っています。1年間ありがとうございました。

【野田副委員長】この委員会に参加させていただき、市の食育計画と一緒に事業計画ができましたので、栄養士会としてもよい活動ができたと感じています。また、いろいろな方のご意見が聞け、幅広い需要を知ることができて感謝しています。評価を見せていただき参考にして、役立てることができました。ただ、このような事業計画というものは、市の各課団体が十分にサポートしていかないと充実していかないと思います。ここに市の担当だけが書かれていることが残念です。1年間ありがとうございました。

【津村委員】本来、最終回である今回は市長が出席させていただき、ご協力いただいたみなさんにお礼を申し上げるのが筋ですが、公務忙しい時期でありますので、変わりました一言ご挨拶をいたします。

この原案を今後市の内部の意思決定の原案として報告し、市の計画として位置づけしていくわけです。この6回の会議に出席させていただき、計画として文字になっているもの以外の委員の思いも含めて、計画の推進を図っていくことが、我々に課せられた使命だと思っています。この思いを計画の内容と共に市内部にも議会にもご説明させていただき、併せて計画に沿っての推進に努力していきたいと思っています。今後とも推進にご協力いただけることをお願いいたしまして、お礼のごあいさつとさせていただきます。

【立花委員長】6回にわたり、みなさまからご意見をいただきありがとうございました。医師として参加させていただきましたが、いろいろな方からお話を聞くことができ、非常にためになりました。食育については、言葉自体も知らないものもありましたが、それも教えていただきました。ロコモティブシンドロームというものもよく知りませんでした。コレステロールは高いほうがよいのか否かについても討論し

ました。がん検診が一番重要で、私もまったく症状がなかったのですが、大腸にがんが見つかり手術をしました。病院に通っていても、医師が全てを診ているとは思わな
いでいただきたい。年に1回の健診は非常に重要です。がんは血液検査ではわかりま
せん。初期がんには腫瘍マーカーは無効だと心得てください。

このようなすばらし計画をつくられた事務局に敬意を表します。

これで芦屋市健康増進・食育推進計画策定委員会を終わらせていただきます。長時
間にわたり、ありがとうございました。

【事務局北口】委員のみなさま方には計画策定にあたり、長期間にわたる活発なご意見をい
ただき、ありがとうございました。計画を策定するだけで終わらず、今後はこの
計画に基づき市民のみなさまの健康増進・食育推進に取り組んでまいりたいと思
いますので、みなさま方のご協力をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

< 閉会 >